



杉の子 No. 9

文責：校長

子どもからのサイン

校長 江渡 準 悦

11月半ば、新聞にこのような記事が載っていました。「文部科学省が全国の国公私立学校を対象に実施した調査で、2021年度に30日以上欠席した小中学生が過去最多の24万4940人に上り、20年度に比べ24.9%の大幅増となった」、「新型コロナの感染拡大は休校措置や部活動の制限、修学旅行や行事の中止など学校生活に影響を及ぼし、子どもたちのストレス要因になっている」といった内容です。

本校では、不安や悩みが把握できている児童へ対してはもちろんのこと、509名の全児童に対して教育相談を行ったり、教員間で児童に関する情報交換をしたり、対応にあたってはケース会議を行うなど、学級担任だけでなく複数の目で子どもたちの現状を把握し、一つひとつのケースに対して、迅速に対応するよう努めています。

また、全校児童と全職員で協力し合って、いじめのない三本木小学校にしていくために、10/18(火)に高学年を対象にした「弁護士によるいじめ防止教室」、11/10(木)に全校児童による「ストップいじめ集会」、11/15(火)の全校集会には、「なぜ争いごとやけんか、そして、いじめが起こるのか」について、世界各地で起こっている戦争や紛争に関連づけながら、分かるように話して聞かせたりしました。

いじめ防止集会では体育館での密集を避けるために、6学年以外の児童は、教室からオンラインでの参加としました。集会の途中では、総務委員会の児童が、学級でいじめをなくするために、どのような話し合いがなされているか各学級を訪問して聞き取り、その内容をオンラインで全校に紹介しました。

集会後、子どもたちからは様々な振り返りがありました。

- 自分が正しい、相手が悪いという気持ちをまず無くすことで、いじめや戦争も続かないで終わらせられることが分かりました。そして、どんなに相手が憎くてもやり返すと自分も相手もいい気分にならないので、話し合った上で、相手を許す気持ちを忘れないようにしたい。
- 誰にでも幸せになる権利がある。この言葉を忘れないことが、一番大切だと思った。行動したり、発言したりする前に、「これを言ったらきっと嫌だろうな」「自分は言われたくない言葉だな」と考えた上で、正しい行動や発言をすれば、いじめを生まない学級にすることができると思う。そして、「認め合う」ことをこれからの学校生活の中で意識していきたい。

本校は「いじめゼロ」を目指していますが、まだ心身ともに成長段階にある子どもたちですから、トラブルが全くないとは言えません。友達関係で少なからず嫌な思いをしている子もいます。本校では、こういった課題に対しては迅速に対応し、学級担任だけでなく速やかに関係職員で問題を共有し、対応にあたっています。

その中で、子ども同士の中で起こるトラブルについては、子どもたちが、将来社会に出て人間関係を築いていく上での一つの成長の糧と捉え、隠したり一方的に叱ったり、安易な解決を図ったりするのではなく、起きてしまったトラブルの原因や経緯をしっかりと子どもと共に見極め、同じ失敗を起こさないように指導し、これを通じて、子ども自身が解決する力を磨き、身に付けていくことが大切だと考えています。お子さんのことで気になることがありましたら、学級担任等を頼りにして、いつでもご相談ください。

『漢字博士大賞』本日×切り

11月中旬、私から「今年の漢字を予想しよう」と題して、子どもたちに課題を出しました。

『あなたにとって、三本木小学校での今年一年間は、どんな一年でしたか?』について、漢字一文字で表すというものです。ご家庭に持ち帰って、家族で考えていた子も多かったと思います。

「今年の漢字2022」京都清水寺で12月12日(月)に発表される漢字と「三本木小学校の今年の漢字」の両方を当てた児童へは、賞状を差し上げることとしています。

まだ応募していない子がいましたら、来週の月曜日まで待っています。



図書館ボランティア ステージ発表

11月29日(火)、図書館ボランティア(三小保護者と元保護者、三小職員OG、卒業生)の方々による、「読み聞かせステージ発表会」を行いました。

今年度の演目は、さとうわきこ作・絵の「せんたくかあちゃん」です。洗濯物も生き物も何でも洗ってしまうかあちゃん、とうとう雷様まで洗ってしまうというお話です。ボランティアの方々は、読み手、ピアノ伴奏、ペープサート操作、舞台転換など、様々な役割を担っていただきました。

子どもたちも職員も、楽しく心温まる時間を過ごすことができました。



今年度の「マラソントайム」終了しました

11月いっぱい今年度のマラソントайムを終了しました。

6つの学年を男女別に分けて記録していますが、今年度は女子から4つ、男子から3つの新記録が出ました。

また、記録会を重ねる度に自分の記録を伸ばしている子、どんどん走るフォームがよくなってきている子など、その子なりの成長がたくさん見られました。

今月からは縄跳びタイムが始まりました。新しい技の習得や跳ぶ回数の記録更新をめざしながら、目標に向かって努力し、達成する喜びを味わわせていきたいと思います。

1年「昔遊び交流会」を行いました。

11月24日(木)に1年生が地域の方々と対面での「昔遊び交流会」を行いました。竹馬、竹とんぼ、お手玉、おはじき、あやとり、けん玉、めんこ、こま回しなど、8種類の昔遊びを経験しました。

「けん玉は、玉が動かなくなるのを待ってからやると、うまくいくことが分かりました。」「竹馬はバランスが大事だということが分かりました。」など、教えていただいたことを基に、直ぐその場でコツをつかんでいる子もいました。

「ああっ、楽しかった。」という子どもたちの声がたくさん聞こえた行事でした。